

POLARIS 市民社会と科学技術政策研究所
第1回シンポジウム
2017年10月6日
明治大学

市民社会と科学技術政策の再考

ー研究所の紹介としてー

勝田忠広
POLARIS代表
明治大学

背景および目的(1/2)

- 私たちを取り囲む科学技術と、その中心にいるはずの人間との関係について実践的に探求する。

- 科学技術は、私たちが十分に理解するスピードよりも速く拡大
 - 例：情報通信科学、AI(人工知能)、生命科学
- 必要な制度や倫理について十分な議論がされているとはいえない
 - 古くからの巨大科学技術や軍民両用技術についても同様
- 一方、政府は「科学技術立国」という名目で積極的に政策を続けている

科学技術基本計画(第5期)による4つの目指すべき国の姿

1. 持続的な成長と地域社会の自律的发展
2. 国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現
3. 地球規模課題への対応と世界の発展への貢献
4. 知の資産の持続的創出



→ 「科学技術イノベーションが必要」

- 彼らの提示する夢の政策の妥当性、客観性の検証は？

背景および目的(2/2)

- 次々と与えられる科学、技術、そしてその政策に対し、無反応なままでいるべきか、過剰に反応するべきか？
- この研究所では、現代の科学技術に対し、夢だけを語ることはしない
- 同様に、恐怖だけを語ることもしない
- 現実を見つめその利用についての自覚と責任を私達が持つことを促す
- 微視的な科学技術やその政策の情報に振り回されないための、人間社会にとっての巨視的な達成目標を—Polaris(北極星)のように—私たちに与えてくれるはず

今後のスケジュール

・現在

- ・公開型の勉強会
 - ・今回：原子力、宇宙技術
 - ・次回：連続講座
 - ・サイバー、AI、ロボット

・今後

- ・Webからの発信
 - ・エッセイ
 - ・動画配信
- ・小中高向けプログラム



<https://www.polaris-meiji.org>

課題 (1/2)

- **そもそも研究機関なのか、NGO(非政府組織・非営利組織)か？**
 - 大学に所属する研究機関
 - 但しオープンな組織
- **具体的な研究内容とその手法は？**
 - 準備中
 - 一般市民、NGO、政府等が政策・意志決定の際に必要な考えを提供
 - 可能であれば海外へも

課題 (2/2)

- **資金をどうするか？**
 - 外部資金
 - 新しいアプローチは可能か？
 - 寄付金等
- **メンバーをどうするか？**
- **どのようにアピールするのか？**

Citizen Science

- 科学者が市民的になるのか(市民的科学者)?
- 市民が科学的になるのか(科学的市民)?
 - その両方か、それ以外か?
- 事例: *Scientific American* の取り組み
 - <https://www.scientificamerican.com/citizen-science/>



You don't need an advanced degree in physics or biology to participate in scientific research, just a curiosity about the world around you and an interest in observing, measuring and reporting what you hear and see. The Internet makes it easy these days to take part as an amateur in sophisticated science

projects around the world, and now *Scientific American* is making it even easier for you to find the right one through our new Citizen Science initiative.



Drift waste. Credit: Fabio Filzi Getty Images

PROJECT DETAILS

PRINCIPAL SCIENTIST: Peter Kohler, founder and director of The Plastic Tide

SCIENTIST AFFILIATION: The Scientific Exploration Society and the Royal Geographical Society

DATES: Ongoing

PROJECT TYPE: Data Processing

COST: Free

GRADE LEVEL: All Ages

TIME COMMITMENT: Variable

HOW TO JOIN:

REGISTER AT THE ZOONIVERSE WEB SITE. THEN USE YOUR COMPUTER OR MOBILE DEVICE TO ANALYZE IMAGES IN THE PLASTIC TIDE'S DATABASE FOR PLASTICS AND LITTER. TAG EACH PIECE OF PLASTIC YOU SPOT BY DRAWING A RECTANGLE AROUND IT ON YOUR SCREEN AND IDENTIFY IT AS FRAGMENTS, FISHING LINE, DRINK BOTTLES OR SOME OTHER TYPE OF PLASTIC WASTE.

最後に

市民社会と科学技術政策研究所

Policy Laboratory for Research on Civil Society and Science and
Technology

われわれはどんな方法で
われわれに必要な科学を
われわれのものにできるか

宮沢賢治より
そして高木仁三郎より